

平成22年11月1日

上場取引所 東大

上場会社名 荒川化学工業株式会社
 コード番号 4968 URL <http://www.arakawachem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 末村 長弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務統轄部長 (氏名) 延廣 徹

TEL 06-6209-8500

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日

平成22年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	32,285	21.0	1,538	5.1	1,625	1.9	965	43.9
22年3月期第2四半期	26,677	21.2	1,463	3.0	1,656	6.5	671	39.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年3月期第2四半期	47.96	
22年3月期第2四半期	33.32	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23年3月期第2四半期	66,099	37,117	54.4	1,786.85
22年3月期	64,048	36,880	55.8	1,775.81

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 35,984百万円 22年3月期 35,762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年3月期		12.00		13.00	25.00
23年3月期		12.50			
23年3月期(予想)				12.50	25.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	63,000	10.8	2,600	8.8	2,900	10.1	1,550	11.1	76.96

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]4ページ「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 社 (社名)、 除外 社 (社名)
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	20,150,400株	22年3月期	20,150,400株
期末自己株式数	23年3月期2Q	11,616株	22年3月期	11,554株
期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	20,138,816株	22年3月期2Q	20,139,141株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) セグメント情報.....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

1. 当第2四半期連結累計期間の業績全般の概況

当第2四半期連結累計期間の国内経済は、景気を持ち直しがみられたものの、政策効果の一巡や夏場以降の急激な円高による輸出の伸び悩みなどにより、景気回復は足踏み状態となりました。

また、世界経済は、中国を中心とした新興国にけん引され、景気は緩やかに回復したものの、政策効果の一巡などにより、先進国で景気回復のペースが鈍化傾向となりました。

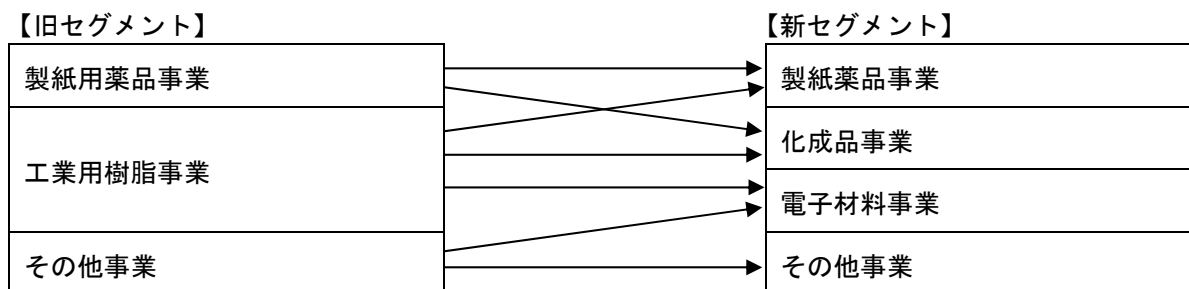
このような環境のもと、当社グループにおきましては、新製品の開発ならびに基盤技術の新規用途開発による高付加価値化を推進するとともに、主力製品のシェア拡大、生産プロセスの合理化などによる製品コストの低減および主原料であるロジンの価格高騰に対応した価格改定に努めてまいりました。また、水系樹脂、超淡色ロジンなどの環境に配慮した製品の拡販、光硬化型樹脂、電子材料用配合製品、精密部品洗浄剤や機能性ファインケミカル製品などの電子材料関連分野での販売を強化し、さらに有機・無機ハイブリッド樹脂、はんだ関連製品の拡大を推進してまいりました。海外におきましては、製品の拡販、中国を中心としたアジア地域の市場開拓を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は322億85百万円(前年同期比21.0%増)、営業利益は15億38百万円(同5.1%増)、経常利益は16億25百万円(同1.9%減)、四半期純利益は9億65百万円(同43.9%増)となりました。

2. セグメントの状況

第1四半期連結会計期間よりマネジメント・アプローチにもとづく「セグメント情報等の開示に関する会計基準」および同適用指針によるセグメント情報の開示をおこなっており、セグメント情報を変更しております。なお、前年同期比は、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報を同会計基準にもとづいて組み替えたうえで、参考情報として記載しております。

従来のセグメント区分と当第2四半期連結累計期間のセグメント区分との関係は次のとおりであります。



セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

<製紙薬品事業>

国内製紙業界は、本格的な回復に至らず、生産調整が継続されるなど、低調に推移しました。一方、中国製紙業界においては、紙の生産が拡大し、子会社における紙力増強剤の需要も回復してまいりました。このような環境のもと、当事業におきましては、全体では需要が回復基調となり、売上が増加しました。利益面では、中国子会社における販売回復があったものの、主原料であるロジンの価格高騰や石油化学原料の価格上昇などが収益を圧迫し、減益となりました。

その結果、売上高は86億79百万円(前年同期比10.1%増)、セグメント利益は4億19百万円(同13.9%減)となりました。

<化成品事業>

国内の印刷インキ、塗料および粘着・接着剤業界は、回復傾向にあるものの、需要は伸び悩みました。このような環境のもと、当事業におきましては、印刷インキ用樹脂、塗料用樹脂および粘着・接着剤用樹脂などの需要が回復基調となり、売上が増加しました。また、海外子会社におきましては、需要が拡大し、印刷インキ用樹脂および粘着・接着剤用樹脂などの売上が大幅に増加しました。利益面では、主原料であるロジンの価格高騰や石油化学原料の価格上昇などが収益を圧迫し、国内における採算性は大きく低下しましたが、海外子会社における大幅な販売増加により、増益となりました。

その結果、売上高は159億22百万円(前年同期比25.5%増)、セグメント利益は7億74百万円(同119.1%増)となりました。

<電子材料事業>

電子工業業界は、需要の回復がみられたものの、ディスプレイ関連分野において生産調整がおこなわれるなど、伸び率は低下しました。このような環境のもと、当事業におきましては、光硬化型樹脂の需要がディスプレイ関連分野で減少しましたが、電子材料用配合製品、精密部品洗浄剤および機能性ファインケミカル製品などの需要は好調に推移し、増収増益となりました。

その結果、売上高は75億32百万円(前年同期比26.4%増)、セグメント利益は5億24百万円(同8.4%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億9百万円減少し、64億36百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、6億5百万円の増加となりました。これは、税金等調整前四半期純利益(16億5百万円)、減価償却費(11億7百万円)および仕入債務の増加(5億66百万円)などにより資金が増加した一方、売上の回復による売上債権の増加(16億39百万円)および法人税等の支払(11億72百万円)などにより資金が減少した結果であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、19億5百万円の減少となりました。これは、固定資産の取得による支出(15億46百万円)が主なものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、10億62百万円の増加となりました。これは、短期借入金の純増加(20億円)により資金が増加した一方、長期借入金の純減少(6億75百万円)や配当金の支払(2億61百万円)などにより資金が減少した結果であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、電子材料関連分野における需要減少と当社グループの主原料であるロジンの価格高騰による影響が予想され、先行きが不透明なため、平成22年5月6日に公表しました業績予想を修正しておりません。

なお、本日(平成22年11月1日)公表いたしました「ダウ・ケミカル社の水素化石油樹脂事業譲受け完了に関するお知らせ」にともなう業績予想への影響につきましては、現在精査中です。

今後、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに発表いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げは、簿価が正味売却価額を明らかに下回るものについてのみ実施しております。

3. 原価差異の繰延処理方法

連続プラントにおいて、定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ1百万円減少しており、税金等調整前四半期純利益は59百万円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は82百万円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,547	6,857
受取手形及び売掛金	23,255	21,719
商品及び製品	5,891	5,679
仕掛品	652	611
原材料及び貯蔵品	3,638	4,382
繰延税金資産	600	705
その他	683	745
貸倒引当金	△103	△116
流動資産合計	41,166	40,585
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,469	6,647
機械装置及び運搬具(純額)	4,029	4,475
土地	5,423	5,424
建設仮勘定	3,694	1,497
その他(純額)	579	612
有形固定資産合計	20,196	18,657
無形固定資産	413	411
投資その他の資産		
投資有価証券	3,542	3,719
繰延税金資産	283	169
その他	521	526
貸倒引当金	△23	△22
投資その他の資産合計	4,323	4,393
固定資産合計	24,933	23,462
資産合計	66,099	64,048

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,631	10,122
短期借入金	9,530	7,673
未払法人税等	508	1,179
賞与引当金	967	1,050
役員賞与引当金	24	45
修繕引当金	62	—
設備関係支払手形	117	93
その他	3,971	3,133
流動負債合計	25,815	23,297
固定負債		
長期借入金	832	1,436
繰延税金負債	—	129
退職給付引当金	2,062	2,064
修繕引当金	—	42
資産除去債務	82	—
その他	190	197
固定負債合計	3,166	3,870
負債合計	28,982	27,167
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,128	3,128
資本剰余金	3,350	3,350
利益剰余金	29,777	29,073
自己株式	△11	△11
株主資本合計	36,245	35,541
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	342	653
繰延ヘッジ損益	18	—
為替換算調整勘定	△621	△431
評価・換算差額等合計	△260	221
少数株主持分	1,132	1,117
純資産合計	37,117	36,880
負債純資産合計	66,099	64,048

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	26,677	32,285
売上原価	20,258	25,249
売上総利益	6,418	7,036
販売費及び一般管理費	4,955	5,498
営業利益	1,463	1,538
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	42	48
受取技術料	53	52
不動産賃貸料	—	52
持分法による投資利益	33	35
その他	163	64
営業外収益合計	297	256
営業外費用		
支払利息	90	83
為替差損	—	57
その他	13	28
営業外費用合計	104	169
経常利益	1,656	1,625
特別利益		
固定資産売却益	0	47
貸倒引当金戻入額	—	11
特別利益合計	0	58
特別損失		
固定資産除売却損	53	18
減損損失	360	—
固定資産評価損	1	0
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	0	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	59
特別損失合計	415	78
税金等調整前四半期純利益	1,240	1,605
法人税、住民税及び事業税	711	517
法人税等調整額	△175	64
法人税等合計	535	582
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,023
少数株主利益	34	57
四半期純利益	671	965

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,240	1,605
減価償却費	1,028	1,107
減損損失	360	—
のれん償却額	18	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	59
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	△10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	954	△82
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7	△21
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	25	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	0
固定資産除売却損益 (△は益)	53	△28
受取利息及び受取配当金	△46	△51
支払利息	90	83
持分法による投資損益 (△は益)	△33	△35
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,146	△1,639
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,853	426
仕入債務の増減額 (△は減少)	624	566
その他	△226	△212
小計	3,791	1,765
利息及び配当金の受取額	96	97
利息の支払額	△92	△85
法人税等の支払額	△68	△1,172
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,726	605
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	4	—
有形固定資産の取得による支出	△748	△1,491
有形固定資産の売却による収入	1	48
投資有価証券の取得による支出	△9	△352
投資有価証券の売却による収入	—	2
無形固定資産の取得による支出	△13	△54
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	55	—
子会社出資金の取得による支出	△122	—
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	4	△51
その他	0	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△828	△1,905
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,633	2,000
長期借入金の返済による支出	△192	△675
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△201	△261
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,027	1,062
現金及び現金同等物に係る換算差額	29	△72
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	899	△309
現金及び現金同等物の期首残高	6,812	6,745
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,712	6,436

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社および子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討をおこなう対象となっているものであります。

当社グループは、天製品のロジンと石油化学製品を主要原材料とした独自の技術を通して、製紙用途や印刷インキ・塗料用途、粘着・接着剤用途、電子材料・ファインケミカル用途等への製造販売を、製紙薬品事業部門、化成品事業部門、電子材料事業部門にておこなっております。

したがって、当社グループの構成単位は「製紙薬品事業」「化成品事業」および「電子材料事業」の3つを報告セグメントとしております。

セグメントの主な取扱い品目は以下のとおりとなります。

「製紙薬品事業」・・・サイズ剤、紙力増強剤、塗工紙用薬品等

「化成品事業」・・・印刷インキ用樹脂、塗料用樹脂、粘着・接着剤用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤、超淡色ロジン等

「電子材料事業」・・・光硬化型樹脂、電子材料用配合製品、精密部品洗浄剤および洗浄機械、機能性ファインケミカル製品等

なお、前第2四半期連結累計期間については「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等にもとづいて組み替えた参考情報であります。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,679	15,922	7,532	32,134	151	32,285
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	359	359	22	382
計	8,679	15,922	7,892	32,494	174	32,668
セグメント利益	419	774	524	1,718	0	1,718

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産仲介、損害保険等を含んでおります。

(参考情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,885	12,689	5,957	26,533	144	26,677
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	227	227	19	247
計	7,885	12,689	6,185	26,761	164	26,925
セグメント利益	486	353	483	1,324	4	1,328

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産仲介、損害保険等を含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額
の主な内容（差異調整に関する事項）

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）
（単位：百万円）

利 益	金 額
報告セグメント計	1,718
「その他」の区分の利益	0
全社費用の配賦差額（注1）	10
営業外損益（注2）	△ 190
四半期連結損益計算書の営業利益	1,538

（注1）全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

（注2）営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

（参考情報）

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）
（単位：百万円）

利 益	金 額
報告セグメント計	1,324
「その他」の区分の利益	4
全社費用の配賦差額（注1）	237
営業外損益（注2）	△ 102
四半期連結損益計算書の営業利益	1,463

（注1）全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

（注2）営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

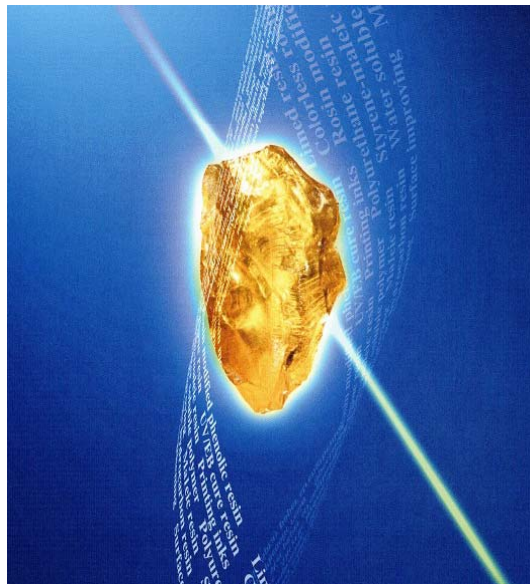
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

該当事項はありません。

平成 23年 3月期 第 2 四半期
参考資料

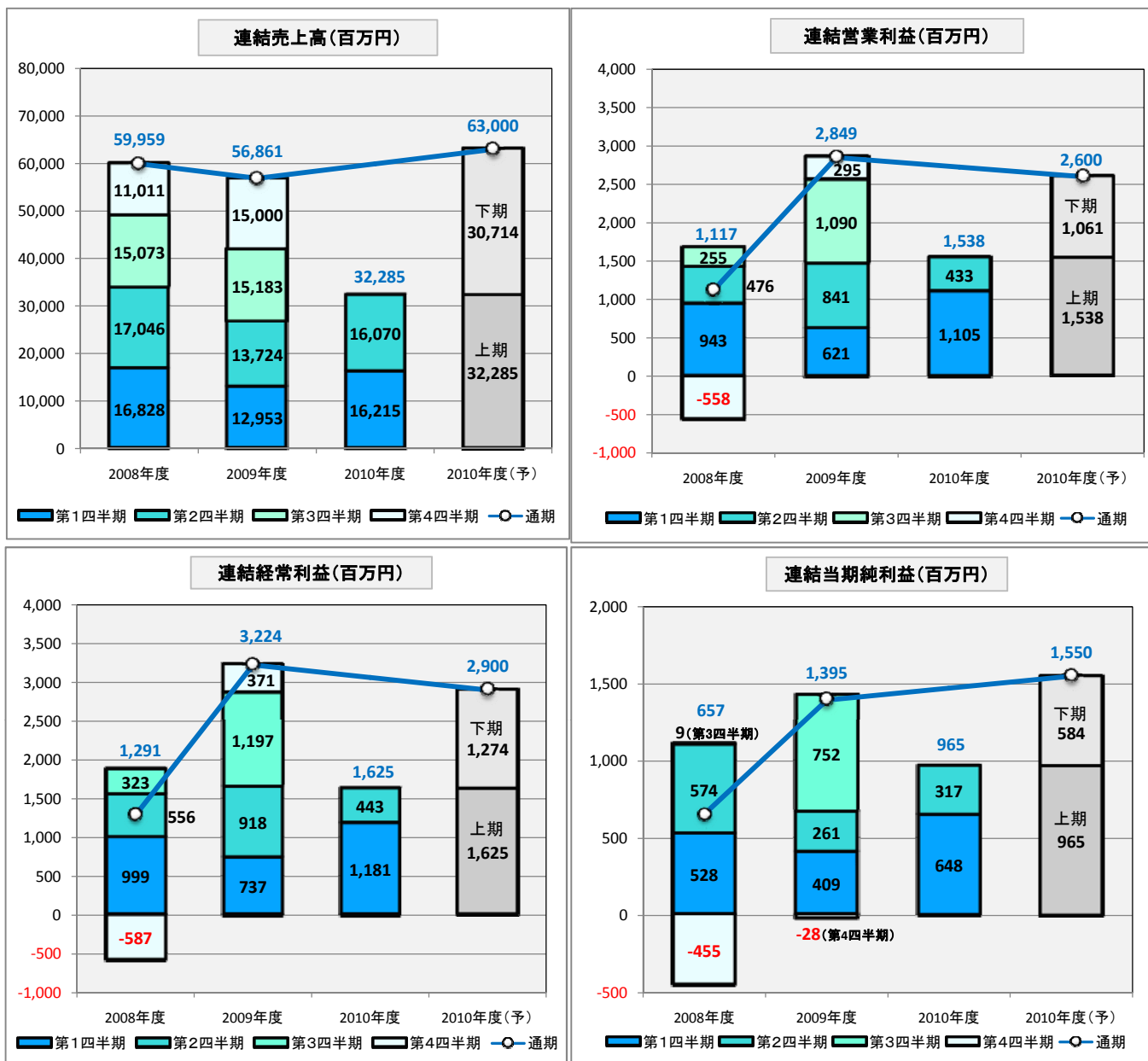
2010年11月 1日



荒川化学工業株式会社

証券コード: 4968

*** 連結業績推移**



連結業績	2008年度(2Q)		2009年度(2Q)		2010年度(2Q)		2008年度		2009年度		2010年度(予)	
	百万円	増減(%)	百万円	増減(%)	百万円	増減(%)	百万円	増減(%)	百万円	増減(%)	百万円	増減(%)
売上高	33,875	5.6	26,677	△ 21.2	32,285	21.0	59,959	△ 9.4	56,861	△ 5.2	63,000	10.8
営業利益	1,420	△ 2.1	1,463	3.0	1,538	5.1	1,117	△ 63.1	2,849	155.1	2,600	△ 8.8
経常利益	1,555	△ 5.9	1,656	6.5	1,625	△ 1.9	1,291	△ 59.9	3,224	149.6	2,900	△ 10.1
当期純利益	1,103	16.6	671	△ 39.2	965	43.9	657	△ 63.0	1,395	112.3	1,550	11.1

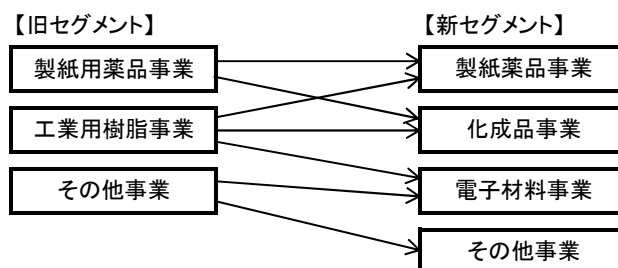
*** 設備投資額等推移**

連結	2008年度(2Q)		2009年度(2Q)		2010年度(2Q)		2008年度		2009年度		2010年度(予)	
	百万円	増減額	百万円	増減額	百万円	増減額	百万円	増減額	百万円	増減額	百万円	増減額
設備投資額	670	△ 1,457	590	△ 80	523	△ 67	1,349	△ 1,642	3,106	1,756	4,660	1,553
減価償却費	1,042	53	1,028	△ 14	1,107	79	2,183	91	2,185	2	2,790	604
研究開発費	1,342	122	1,308	△ 33	1,385	76	2,637	141	2,830	193	2,920	89
有利子負債	8,001	△ 162	8,455	453	10,362	1,907	10,147	1,872	9,109	△ 1,038	11,390	2,280

*** 連結セグメント別業績推移**

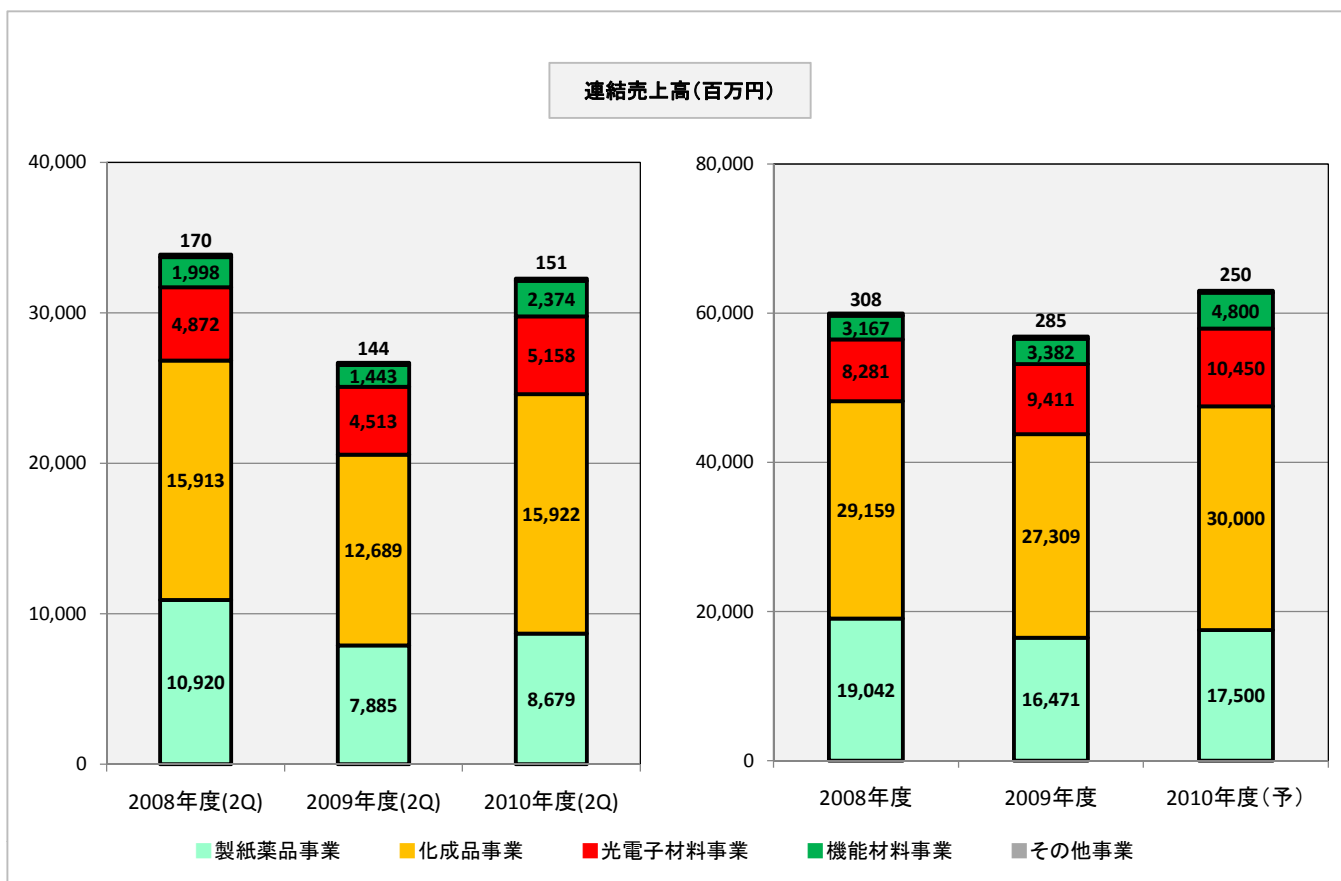
連結セグメント業績		2009年度(2Q)		2010年度(2Q)		2009年度		2010年度(予)	
		百万円	増減(%)	百万円	増減(%)	百万円	増減(%)	百万円	増減(%)
製紙薬品	売上高	7,885	—	8,679	10.1	16,471	—	17,500	6.2
	セグメント利益	486	—	419	△ 13.9	—	—	—	—
	利益率	6.2%		4.8%		—		—	
化成品	売上高	12,689	—	15,922	25.5	27,309	—	30,000	9.9
	セグメント利益	353	—	774	119.1	—	—	—	—
	利益率	2.8%		4.9%		—		—	
電子材料	売上高	5,957	—	7,532	26.4	12,794	—	15,250	19.2
	セグメント利益	483	—	524	8.4	—	—	—	—
	利益率	8.1%		7.0%		—		—	
その他	売上高	144	—	151	4.9	285	—	250	△ 12.3
	セグメント利益	4	—	0	△ 89.6	—	—	—	—
	利益率	2.8%		0.3%		—		—	
合計	売上高	26,677	—	32,285	21.0	56,861	—	63,000	10.8
	セグメント利益	1,328	—	1,718	29.4	—	—	—	—
	利益率	5.0%		5.3%		—		—	

- * 2010年度第1四半期よりマネジメント・アプローチにもとづく「セグメント情報等の開示に関する会計基準」および同適用指針によるセグメント情報の開示をおこなっており、セグメント情報を変更しております。なお、過去との対比は、過去のセグメント情報を同会計基準にもとづいて組み替えただうで、参考情報として記載しております。
- * 従来のセグメント区分と新しいセグメント区分の関係は次のとおりです。
- * セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。



- * 製紙薬品事業……サイズ剤、紙力増強剤、塗工紙用薬品等
- * 化成品事業……印刷インキ用樹脂、塗料用樹脂、粘着・接着剤用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤、超淡色ロジン等
- * 電子材料事業……光硬化型樹脂、電子材料用配合製品、精密部品洗浄剤および洗浄機械、機能性ファインケミカル製品等
- * その他事業……不動産仲介、損害保険等

*** 事業分野別売上高推移**

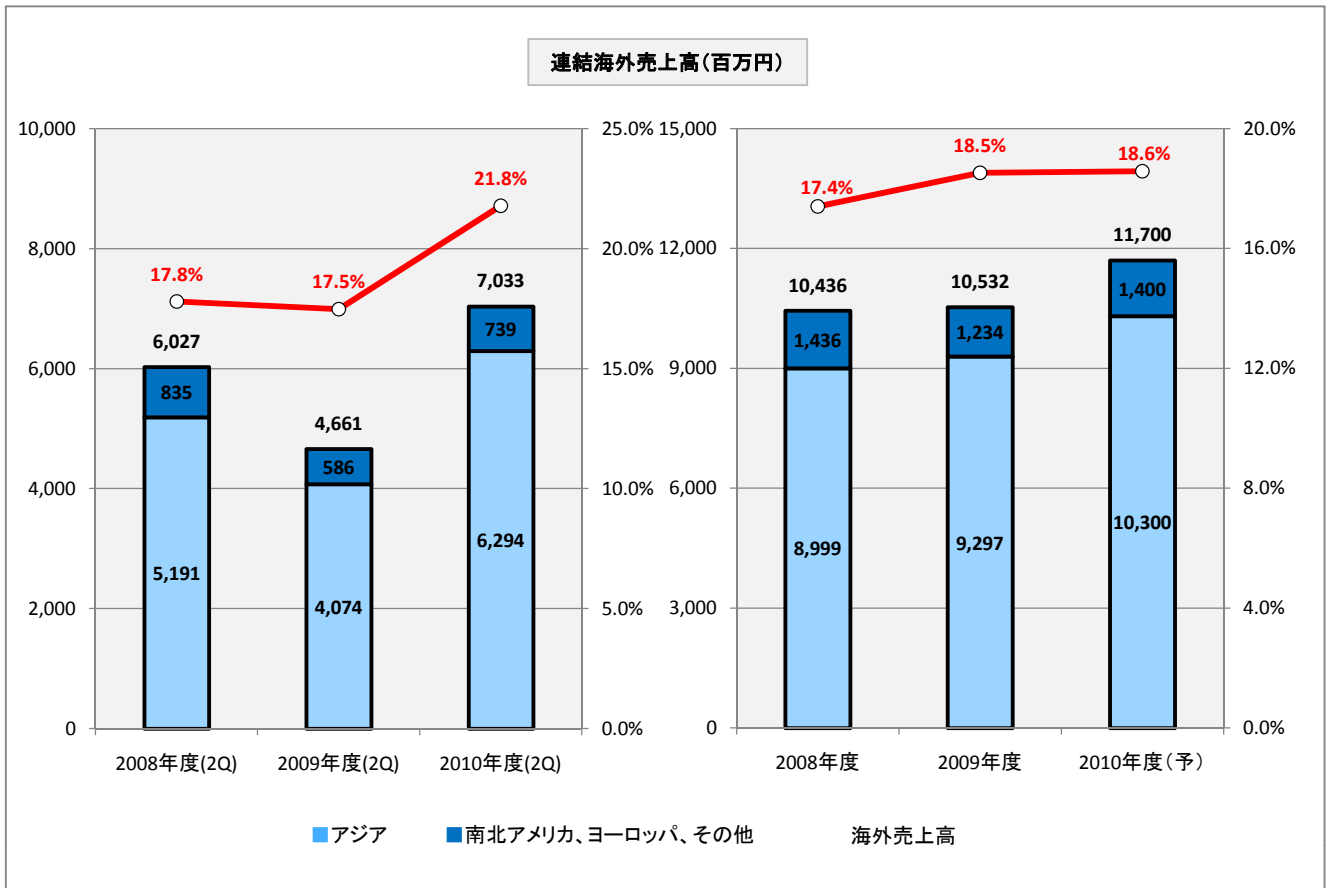


連結売上高	2008年度(2Q)		2009年度(2Q)		2010年度(2Q)		2008年度		2009年度		2010年度(予)	
	百万円	増減(%)	百万円	増減(%)	百万円	増減(%)	百万円	増減(%)	百万円	増減(%)	百万円	増減(%)
製紙薬品事業	10,920	△ 1.1	7,885	△ 27.8	8,679	10.1	19,042	△ 15.3	16,471	△ 13.5	17,500	6.2
化成事業	15,913	5.1	12,689	△ 20.3	15,922	25.5	29,159	△ 6.0	27,309	△ 6.3	30,000	9.9
基盤事業計	26,834	2.5	20,575	△ 23.3	24,601	19.6	48,202	△ 9.9	43,780	△ 9.2	47,500	8.5
占有率	79.2%		77.1%		76.2%		80.4%		77.0%		75.4%	
光電子材料事業	4,872	19.1	4,513	△ 7.4	5,158	14.3	8,281	△ 3.5	9,411	13.7	10,450	11.0
機能材料事業	1,998	20.1	1,443	△ 27.8	2,374	64.4	3,167	△ 16.1	3,382	6.8	4,800	41.9
伸長事業計	6,870	19.4	5,957	△ 13.3	7,532	26.4	11,448	△ 7.4	12,794	11.7	15,250	19.2
占有率	20.3%		22.3%		23.3%		19.1%		22.5%		24.2%	
その他事業	170	6.3	144	△ 15.2	151	4.9	308	3.0	285	△ 7.7	250	△ 12.3
合計	33,875	5.6	26,677	△ 21.2	32,285	21.0	59,959	△ 9.4	56,861	△ 5.2	63,000	10.8

*2010年度第1四半期より各事業区分に属している一部製品の再編をおこなっております。
 *過去の業績についても、変更後の事業区分に組み替えて対比しております。

- * 製紙薬品事業……サイズ剤、紙力増強剤、塗工紙用薬品等
- * 化成事業……印刷インキ用樹脂、塗料用樹脂、接着・接着剤用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤、超淡色ロジン等
- * 光電子材料事業……光硬化型樹脂、電子材料用配合製品、有機・無機ハイブリッド樹脂等
- * 機能材料事業……精密部品洗浄剤および洗浄機械、機能性ファインケミカル製品、クリームはんだ等
- * その他事業……不動産仲介、損害保険等

*** 連結海外売上高推移**



連 結	2008年度(2Q)		2009年度(2Q)		2010年度(2Q)		2008年度		2009年度		2010年度(予)	
	百万円	増減(%)	百万円	増減(%)	百万円	増減(%)	百万円	増減(%)	百万円	増減(%)	百万円	増減(%)
海外売上高	6,027	△ 2.6	4,661	△ 22.7	7,033	50.9	10,436	△ 16.3	10,532	0.9	11,700	11.1
内 アジア	5,191	△ 3.7	4,074	△ 21.5	6,294	54.5	8,999	△ 17.7	9,297	3.3	10,300	10.8
海外売上高比率	17.8%		17.5%		21.8%		17.4%		18.5%		18.6%	

比較四半期連結貸借対照表

単位：百万円（未満切捨て）

期 別 科 目	前連結第2四半期末 (平成21年9月30日現在)		当連結第2四半期末 (平成22年9月30日現在)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日現在)		増 減 (A) - (B)
	金 額	構成比	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	
(資 産 の 部)		%		%		%	
I 流動資産							
1. 現金及び預金	7,825		6,547		6,857		△ 310
2. 受取手形及び売掛金	20,204		23,255		21,719		1,536
3. 商品及び製品	5,140		5,891		5,679		211
4. 仕掛品	509		652		611		41
5. 原材料及び貯蔵品	3,355		3,638		4,382		△ 744
6. 繰延税金資産	604		600		705		△ 105
7. その他	514		683		745		△ 61
貸倒引当金	△ 113		△ 103		△ 116		13
流動資産合計	38,040	62.8	41,166	62.3	40,585	63.4	580
II 固定資産							
1. 有形固定資産							
(1) 建物及び構築物	6,417		6,469		6,647		△ 177
(2) 機械装置及び運搬具	4,402		4,029		4,475		△ 446
(3) 土地	5,065		5,423		5,424		△ 0
(4) 建設仮勘定	1,396		3,694		1,497		2,196
(5) その他	676		579		612		△ 33
有形固定資産合計	17,958	29.7	20,196	30.6	18,657	29.1	1,538
2. 無形固定資産	440	0.7	413	0.6	411	0.6	1
3. 投資その他の資産							
(1) 投資有価証券	3,452		3,542		3,719		△ 177
(2) 繰延税金資産	168		283		169		113
(3) その他	502		521		526		△ 5
貸倒引当金	△ 22		△ 23		△ 22		△ 1
投資その他の資産合計	4,101	6.8	4,323	6.5	4,393	6.9	△ 69
固定資産合計	22,501	37.2	24,933	37.7	23,462	36.6	1,470
資産合計	60,541	100.0	66,099	100.0	64,048	100.0	2,051

単位：百万円（未満切捨て）

期 別 科 目	前連結第2四半期末 (平成21年9月30日現在)		当連結第2四半期末 (平成22年9月30日現在)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日現在)		増 減 (A) - (B)
	金 額	構成比	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	
(負 債 の 部)		%		%		%	
I 流動負債							
1. 支払手形及び買掛金	8,649		10,631		10,122		509
2. 短期借入金	6,221		9,530		7,673		1,857
3. 未払法人税等	725		508		1,179		△ 670
4. 賞与引当金	955		967		1,050		△ 82
5. 役員賞与引当金	18		24		45		△ 21
6. 修繕引当金	-		62		-		62
7. 設備関係支払手形	58		117		93		23
8. その他	2,968		3,971		3,133		838
流動負債合計	19,597	32.4	25,815	39.0	23,297	36.4	2,517
II 固定負債							
1. 長期借入金	2,233		832		1,436		△ 604
2. 繰延税金負債	40		-		129		△ 129
3. 退職給付引当金	2,067		2,062		2,064		△ 2
4. 修繕引当金	14		-		42		△ 42
5. 資産除去債務	-		82		-		82
6. その他	198		190		197		△ 7
固定負債合計	4,554	7.5	3,166	4.8	3,870	6.0	△ 703
負債合計	24,151	39.9	28,982	43.8	27,167	42.4	1,814
(純資産の部)							
I 株主資本							
1. 資本金	3,128		3,128		3,128		-
2. 資本剰余金	3,350		3,350		3,350		-
3. 利益剰余金	28,591		29,777		29,073		704
4. 自己株式	△ 10		△ 11		△ 11		△ 0
株主資本合計	35,058	57.9	36,245	54.9	35,541	55.5	703
II 評価・換算差額等							
1. その他有価証券評価差額金	494		342		653		△ 310
2. 繰延ヘッジ損益	-		18		-		18
3. 為替換算調整勘定	△ 285		△ 621		△ 431		△ 189
評価・換算差額等合計	208	0.3	△ 260	△ 0.4	221	0.4	△ 481
III 少数株主持分	1,122	1.9	1,132	1.7	1,117	1.7	14
純資産合計	36,389	60.1	37,117	56.2	36,880	57.6	236
負債純資産合計	60,541	100.0	66,099	100.0	64,048	100.0	2,051

比較四半期連結損益計算書

単位：百万円（未満切捨て）

科 目	前連結第2四半期			当連結第2四半期			増 減		前連結会計年度の 要約連結損益計算書		
	（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）			（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）					（自平成21年4月1日 至平成22年3月31日）		
	金 額	百分比	%	金 額	百分比	%	金 額	増減率	金 額	百分比	%
I 売 上 高	26,677	100.0	%	32,285	100.0	%	5,608	21.0	56,861	100.0	%
II 売 上 原 価	20,258	75.9		25,249	78.2		4,990	24.6	43,499	76.5	
売 上 総 利 益	6,418	24.1		7,036	21.8		617	9.6	13,361	23.5	
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	4,955	18.6		5,498	17.0		542	11.0	10,511	18.5	
営 業 利 益	1,463	5.5		1,538	4.8		75	5.1	2,849	5.0	
IV 営 業 外 収 益											
1. 受 取 利 息	4			3					8		
2. 受 取 配 当 金	42			48					78		
3. 受 取 技 術 料	53			52					118		
4. 不 動 産 賃 貸 料	52			52					104		
5. 持 分 法 に よ る 投 資 利 益	33			35					69		
6. 為 替 差 益	12			-					23		
7. そ の 他	98	297	1.1	64	256	0.8	△ 41	△ 13.8	170	573	1.0
V 営 業 外 費 用											
1. 支 払 利 息	90			83					170		
2. 為 替 差 損	-			57					-		
3. そ の 他	13	104	0.4	28	169	0.6	64	62.0	28	198	0.3
経 常 利 益	1,656	6.2		1,625	5.0		△ 30	△ 1.9	3,224	5.7	
VI 特 別 利 益											
1. 固 定 資 産 売 却 益	0			47					0		
2. 貸 倒 引 当 金 戻 入 額	-			11					-		
3. 国 庫 補 助 金	-	0	0.0	-	58	0.2	58	-	42	42	0.1
VII 特 別 損 失											
1. 固 定 資 産 除 売 却 損	53			18					101		
2. 減 損 損 失	360			-					510		
3. 固 定 資 産 評 価 損	1			0					6		
4. 投 資 有 価 証 券 売 却 損	-			0					-		
5. 投 資 有 価 証 券 評 価 損	0			-					0		
6. 資 産 除 去 債 務 会 計 基 準 の 適 用 に 伴 う 影 響 額	-	415	1.6	59	78	0.2	△ 337	△ 81.1	-	619	1.1
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	1,240	4.6		1,605	5.0		364	29.4	2,647	4.7	
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 法 人 税 等 調 整 額	711 △175	535	2.0	517 64	582	1.8	46	8.7	1,412 △287	1,124	2.0
少 数 株 主 損 益 調 整 前 四 半 期 純 利 益	705	2.6		1,023	3.2		317	45.1	1,523	2.7	
少 数 株 主 利 益	34	0.1		57	0.2		22	66.8	128	0.2	
四 半 期 (当 期) 純 利 益	671	2.5		965	3.0		294	43.9	1,395	2.5	

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円（未満切捨て）

項 目	期 別		増 減 (B) - (A)	前連結会計年度の 要約連結キャッシュ ・フロー計算書 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
	前連結第2四半期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当連結第2四半期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		
	金 額 (A)	金 額 (B)		
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期（当期）純利益	1,240	1,605	364	2,647
減価償却費	1,028	1,107	79	2,185
減損損失	360	-	△ 360	510
のれん償却額	18	-	△ 18	18
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	59	59	-
貸倒引当金の増減額（△は減少）	4	△ 10	△ 15	7
賞与引当金の増減額（△は減少）	954	△ 82	△ 1,036	1,050
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△ 7	△ 21	△ 14	20
退職給付引当金の増減額（△は減少）	25	△ 1	△ 26	23
投資有価証券売却損益（△は益）	-	0	0	-
固定資産除売却損益（△は益）	53	△ 28	△ 81	100
受取利息及び受取配当金	△ 46	△ 51	△ 4	△ 87
支払利息	90	83	△ 7	170
持分法による投資損益（△は益）	△ 33	△ 35	△ 1	△ 69
売上債権の増減額（△は増加）	△ 2,146	△ 1,639	507	△ 3,720
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,853	426	△ 1,427	107
仕入債務の増減額（△は減少）	624	566	△ 57	2,113
その他	△ 226	△ 212	13	121
小 計	3,791	1,765	△ 2,026	5,200
利息及び配当金の受取額	96	97	1	134
利息の支払額	△ 92	△ 85	7	△ 161
法人税等の支払額	△ 68	△ 1,172	△ 1,104	△ 204
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,726	605	△ 3,121	4,969
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金の増減額（△は増加）	4	-	△ 4	3
有形固定資産の取得による支出	△ 748	△ 1,491	△ 742	△ 3,687
有形固定資産の売却による収入	1	48	47	374
投資有価証券の取得による支出	△ 9	△ 352	△ 342	△ 19
投資有価証券の売却による収入	-	2	2	-
無形固定資産の取得による支出	△ 13	△ 54	△ 41	△ 38
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	55	-	△ 55	46
子会社出資金の取得による支出	△ 122	-	122	△ 122
投資その他の資産の増減額（△は増加）	4	△ 51	△ 56	15
その他	0	△ 5	△ 5	△ 24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 828	△ 1,905	△ 1,076	△ 3,451
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額（△は減少）	△ 1,633	2,000	3,633	△ 978
長期借入れによる収入	-	-	-	273
長期借入金の返済による支出	△ 192	△ 675	△ 483	△ 428
自己株式の取得による支出	△ 0	△ 0	0	△ 0
配当金の支払額	△ 201	△ 261	△ 60	△ 443
少数株主への配当金の支払額	-	-	-	△ 64
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,027	1,062	3,090	△ 1,642
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	29	△ 72	△ 101	57
V 現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	899	△ 309	△ 1,209	△ 67
VI 現金及び現金同等物の期首残高	6,812	6,745	△ 67	6,812
VII 現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	7,712	6,436	△ 1,276	6,745